～平成26年産米の作柄及び集荷状況をお知らせします～

ＪＡあきた白神では、平成26年度集荷・販売方針に基づき、全量出荷運動を実施しております。生産者の皆様からお米を出荷して頂くことで、販売戦略に沿って消費者へ届けることができます。また、当組合ではカントリーエレベーターを利用することで均質米を市場に安定供給し、有利販売を進めています。この取り組みによって、白神米のブランド価値が高まり、農家の方々の所得安定につなげていきます。

◆ 平成26年産米集荷実績状況 ◆

【平成26年11月６日現在】　　【単位：60kg／俵】

地区別集荷実績	計画数量	契約数量	合　計	進捗率	１等米比率	計画対比	契約数量対比
のしろ東	70,900.0	69,474.5	70,351.5	101.3%	97.8%	99.2%	101.3%
のしろ北	91,700.0	90,598.0	92,547.0	102.2%	97.7%	100.9%	102.2%
能代計	162,600.0	160,072.5	162,898.5	101.8%	97.8%	100.2%	101.8%
二ッ井	62,500.0	63,797.0	61,509.5	96.4%	90.7%	98.4%	96.4%
藤里	40,000.0	40,019.5	41,000.5	102.5%	97.6%	102.5%	102.5%
合計	265,100.0	263,889.0	265,408.5	100.6%	95.3%	100.1%	100.6%

※１等米比率は、加工用米等を除いた比率となっております。

◆ 管内の品質状況 ◆

今年は平年より収穫量は多めの傾向となっております。また、管内の１等米比率の平均は95.3％（11月６日現在）と高い水準を維持してきております。しかし、出穂期以降の多雨や日照不足等の天候不順の影響を受け「青未熟粒」の割合が高く下位等級のものも見受けられます。また「カメムシ」による原因も見られ、来年以降も注意喚起を行っていきます。

◆ 水稲作柄概況 ◆

【平成26年10月15日現在】

農林水産省は10月15日現在の作柄概況を県北部は10ａ当たり予想収量579kg・作況指数104と発表しました。昨年同時期に出された県北の作況指数は99となっており、作付収量の増加が見込まれています。

秋田県596（kg）（作況指数104）

＜参考＞作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）
資料：東北農政局

営農行事案内

『廃プラ回収』を実施します

毎日の農作業お疲れ様です。農作業で使用した廃プラスチックをＪＡが代行して処理申請を行います。

詳しい内容については、外務で配られるチラシをご参照ください。

日時　平成26年11月29日(土)

場所　能代営農センター
二ツ井営農センター
藤里営農センター